住みよいたけし

住みよい武石をつくる会広報
第12号
2019年４月16日発行
事務所　武石地域自治センター内
TEL:0268-85-3667
http://www2.marukotv.jp/~s-takeshi
印　刷　中澤印刷株式会社

武石公民館での思い出に残る結婚式

昭和48年12月に建設され、45年間様々な催し物に利用されてきた武石公民館。3月24日に約300人が参加して「ありがとう公民館」のイベントが行われ、3月31日には、思いの詰まった結婚式が執り行われました。

新郎新婦は、下武石の黒木伸行さんと長和町出身で同級生だった梓さん。多くの友人や親族に祝福され、幸せそうなお二人でした。

黒木さんは、長和町の農業生産法人「SMIL結絆」（スマイルゆうき）で農業関係の仕事をされています。トマトや食用ホウズキ、タマネギ、ニンジン等の野菜を栽培する傍ら、長和町内でキッチンカーを走らせ、栽培した野菜を使った料理も提供しています。

最近の結婚式は、ほとんどが専門の式場で行われていますが、武石で育った黒木さんは、できるなら結婚式も武石川の自然に囲まれた中で挙げたかったとのこと。地域を盛り上げていきたいという思いと、いつまでも思い出に残る結婚式をということで、3月31日の公民館での挙式を決めたとのことです。一生の記念となる人前結婚式として実現しました。

武石村中央公民館(新市合併後は「武石公民館」）は、完成した翌49年から、生活の華美を排し、簡素化・実質を重視する生活改善の申し合わせによる公民館結婚式場として多くの方が利用しました。昭和50年は、武石村関係で150組ほどの結婚式がありました。その多くがこの公民館で執り行われました。

新年度上田市予算のうち武石関係の概要

新年度の武石関係の市の予算の概要は下表のようになっています。

本年度から武石総合センター建設事業が始まり、建設工事費43,930万円が計上されています。また、建設にあたり、武石財産区から3年間で3,000万円の繰り入れを予定する債務負担行為予算が計上されていることが大きな特徴となっています。これまで、武石財産区は、新市発足時に旧武石村有林の一部を財産として継承し、毎年マツタケ山公売収入を得てきましたが、ほとんど支出をせず基金に積み立ててきました。今回この基金から3,000万円を総合センター建設に役立てようとするものです。市では、武石産の材木を利用するなど、武石らしい建物にしていくための支出としています。

そのほか、道の駅美ケ原高原駐車場や雲渓荘など観光関連施設の整備や維持費が大きな額になってきています。

武石地域関係の主な事業

（単位:千円）

住みよい武石をつくる会活動交付金	2,500
わがまち魅力アップ応援事業	600
自治会活動支援の交付金	3,289
武石地域総合センター整備事業	439,300
武石夏祭り負担金	2,300
依田窪病院運営負担金	196,776
中山間地域農業直接支払い交付金	2,944
緑化推進事業	2,999
うつくしの湯ろ過機修繕	8,962
巣栗渓谷かじか橋改修	35,500
道の駅美ケ原高原駐車場整備	50,000
観光施設管理運営委託	
うつくしの湯運営	39,696
雲渓荘運営	34,765
番所ケ原スキー場運営	20,387
デマンド交通運営委託	14,670
ともしび博物館運営事業	17,470
〃　開館30周年記念事業	7,000
市道武石和田線改良工事	16,500
市道小沢根線落石防止工事	60,000
その他道路河川改修	61,447

2019年度を武石地域再構築の初年に！！

住みよい武石をつくる会からの提言

地域自治組織「住みよい武石をつくる会」は、この3月で丸2年となりましたが活動はまだまだ手探りの状態です。会は地域の皆さんの連携を媒介し、地域活動の触媒となる組織・運動体です。これからも地域の活性化に向けて、住民の皆様の活発な意見、提言、問題提起を期待しています。

さて、武石地域では今年次の2つの大きな出来事があります。

1　武石総合センター建設工事が始まります

２年後には、総合支所・公民館・健康センターなどの機能が集約された総合センターが完成し、現自治センター付近には駐車場、芝生緑地、トイレなどが付帯した「にぎわい広場」がつくられます。一帯は、地域の拠り所、憩いの場として住民交流の中心となることが期待されます。この広場をどのように活用して地域を活性化するかは、私たち住民の知恵の出し方にかかっています。

2　今年は、武石村が誕生して130年です

武石村は、明治22年(1889年)4月1日に発足しました。平成元年（1989年）には武石村誕生100年を祝う記念式典が盛大に開催され、同年11月4日に30年後に向けてタイムカプセルが武石公民館の庭に埋設されました。今年はその30年目に当たります。総合センター建設工事のため、タイムカプセルは既に掘り出され、開封は11月に行うとされています。平成が始まった年に埋設されたカプセルが新たな元号「令和」となる年に開封される大変ロマンを感じさせる出来事です。

2つの事柄に象徴されるように、今年は武石地域にとって一つの区切りの年といえます。住民が気持ちを一つにし、地域を再構築していく初年とする、知恵を絞り行動を起こす年としていきましょう。

I Love TAKESHI

武石を盛り上げる人やグループ紹介

武石の人・団体

七ヶ公友会

七ヶ公友会
会長　坂口穂高さん

5月初旬田んぼに水が入り始める頃、武石公園は約 2,000 株のツツジに赤く染まり、夕方ぼんぼりの明かりが灯ると、田んぼの水面にぼんぼりの灯が映り、幻想的な風景が浮かび上がります。

この武石公園の整備をボランティアで実施しているのが「七ヶ公友会」の皆さんです。

5月の連休頃から見ごろとなります

公友会は、七ヶ自治会の消防団退団者などを中心にした会で、現在 74 名の皆さんが会員となっています。

公友会では、七ヶ自治会や七ヶ高齢者クラブの有志の皆さんと協力して、公園内の草刈やツツジの剪定、ツツジの植樹、雑木処理など年 4 回の手入れ作業を実施しており、約 40 人程の参加があるとのことです。また、ツツジの時期にはぼんぼりの設置作業も行っています。

田んぼの水面に映るぼんぼりの灯

武石公園は、ここ数年で登山道や遊歩道の整備が行われて歩きやすくなり、また周辺の草刈や雑木処理の範囲が広がるなど、驚くほどの変容を遂げました。昨年は、ぼんぼりの設置が「さつき橋」（注 1）西側からきつね山を経てともしび博物館の前まで延長されました。雑木処理も今年はさつき橋西側で行うとのことで、整備の範囲が広がっています。

公友会会長の坂口さんは、「ここ数年の整備が進んだことで、やればやっただけ武石公園がきれいになって嬉しい。また藪を刈ることでツツジの生育にもよいことが分かった」と手応えを話します。「これまで守ってきたツツジを絶やさないよう、しっかり手入れをしてゆきたい。昨年同様に今年もきれいなツツジが咲いてほしい」と今年の作業に向けて抱負を話してくれました。

武石公園の歴史は古く、明治 38 年 5 月、日露戦争の戦死者を弔う記念公園として「七ヶ義友会」（日清戦争のとき七ヶの青年で組織した団体）を中心に下武石全戸の勤労奉仕により造園されました。その後「ツツジの名勝」として近隣の人々がレクリェーションの場として訪れ、屋台なども出て賑わったとのことです。時代の推移と共に訪れる人も少なくなっていましたが、ここ数年の再整備により、かつての「ツツジの名勝・武石公園」を取り戻しつつあります。

昭和40年代　花見の風景

（注1）「さつき橋」
大宮諏訪神社の裏側に上る道の切通しの上に掛かる鉄橋。この橋は、丸子実業高校（現丸子修学館高校）の土木科教師の設計によるもので、昭和28年5月に完成しました。こんな高い技術を持った先生が高校にいたとは驚きです。

武石公園のツツジの開花情報は
武石観光協会　検索

ともしびの里芸能祭

第25回ともしびの里芸能祭が、2月24日（日）武石公民館ホールで開催されました。

歌に楽器演奏に踊りにと４時間半にわたり、15組が普段の練習の成果を披露しました。会場には、発表される皆さんはもとより、ご家族や知人など大勢の皆さんが詰めかけ、盛んに拍手を贈っていました。

武石総合センターの建設に伴い、公民館は4月から閉鎖取り壊しとなるため、次回の芸能祭の開催は１～2年後になります。

車いすダンスの披露

武石小学校「和組」最後の卒業式？

～進む少子化～
でも今年の入学生は「和組」に

3月15日（金）武石小学校第132回卒業式が行われ、敬組・和組37名が巣立ちました。

児童数減少により、2019年度は全学年1クラスになり、当面1学年2クラスは見込めないとのこと。しかし「和組を残してほしい」との子供たちの声を受け、今年の1年生のクラス名は「和組」（22名）となるとのことです。

地域づくり講演会から

上田市内では、本会のような住民自治組織が10組織ありますが、自治組織や地域協議会委員を対象にした地域づくり講演会（講師　東京農工大の福井隆教授）が1月30日上田文化会館で開催され、本会からも委員が参加しました。

全国的に少子・高齢化が進行し、地域の活力が低下しており、何もしないと地域がしぼんでいってしまうおそれがあり、行政に頼ることではなく、住民が自発的に地域おこしを考える必要があること（住民と行政の協働）、そのために、地域問題の解決に向けた取り組みを持続的に実践する組織が必要であること等を力説され、各地の先駆的な地域おこしの事例が紹介されました。

講師は、地域づくりで肝心なのは

①攻めの自治（住民が自ら考える地域計画づくりとその実行）

②守りの経済（地域内のお金や物の流通、新たな価値の創出、雇用の創出、交流維持等）

であるとしています。

特に「守りの経済」について、かつてのような工場誘致とか観光開発などの大きな事業でなく、定年帰農者や主婦が行う農産物直売など住民が行う経済、今より月数万円程度上乗せする収入を得ること、地域で働く場所を得ること、生産者と消費者を結ぶことなど地域と住民を守る「小さな経済」としています。

武石でいま必要なのは、まさに守りの経済といえます。今後の住みよい武石をつくる会の活動や地域活動の参考となる講演でした。

地域のイベント＆お知らせ

- **一心神社祭り**　4月21日㈰午後1時▶下小寺尾
  火渡り、剣の刃渡り等
- **美ヶ原開山祭**　4月25日㈭▶美ヶ原高原美術館
- **花桃の郷ウォーキング**　4月27日㈯▶余里地域
- **おさんぽギャラリー春**　4月28日㈰
  10:00～16:00▶JAひだまり武石周辺
  ◆ブース出展（フリーマーケット、カレー店等）
  ◆武石紅白歌合戦（13:00～）、
  ◆ギャラリークラノマ企画展
- **岡田光司（写真家）ギャラリートーク**
  4月28日㈰15:00～▶ともしび博物館
- **余里一里花桃の里花桃祭り**　4月下旬～5月上旬
  無料シャトル送迎バス（一万歩駐車場発着）あり
- **市之瀬のこいのぼり**　4月中旬～▶上武石市之瀬
- **たけし史跡めぐりウォーキング**　5月19日㈰
- **ともしびの里ソフトバレーフェスティバル**　6月2日㈰
- **分館親善マレットゴルフ大会**　6月9日㈰
- **たけし歴史さんぽみち（ウォーキング）**　6月15日㈯

エリアトークに加入しましょう

エリアトークには武石の75%の世帯が加入しています。普段の生活・イベント情報や、万が一の災害時連絡など、地域情報を得る有効な手段です。料金は、加入負担金が初回５千円、利用負担金が年間４千円です。全戸で加入しましょう。